

「熱い心」 ～日本一熱く、絆強き学校への道～



「ありがとう」に心をこめて！～言葉を大切にしよう！～

最近、みんなはどんな場面で「ありがたい」と感じ、「ありがとう」という言葉を使ったかな？普段から何気なく使っている言葉だけれど、ものすごく大切な言葉の一つだね。じゃあ「ありがとう」と反対の言葉は何だろう？ヒントは、「ありがとう」を漢字で書いてみることにしよう。

「有り難う」だね。有ることが難しい、有ることがなかなかないという意味。平成29年の台風18号で被災した我々は、水道のありがたみ、給食のありがたみ、普通に暮らすことのありがたみを心底感じた。家があって、仲間がいて、学校に行き授業を受けられることが当たり前だと思っていたけれど、それはありがたいことだと学び、幸せなことだと感じた。そう、「ありがとう」の反対の言葉は、「当たり前」だ。電気、水道、家、家族、仲間…、これらがすべてそろっていることは、本当はとても「有り難い」ことなんだね。我々の生活は恵まれていて、「当たり前」と思いつい幸せであることを忘れてしまう。普段から「**当たり前**」に感謝する「**ありがとう**」の気持ちを持っていくよう、時々自分たちを振り返ってみよう。日々の生活の中で小さなことにも感謝の思いを持ち、その思いを口に出していこう。「ありがとう」がいっぱい聞こえる教室がやっぱりいいよな。互いに感謝し感謝され、喜びを感じる。仲間のために、人のために動くこと、汗を流すことを惜しまない。そんな教室はきっとあったかい。居心地がいい。「**ありがとう**」に心をこめて、改めて言葉を大切にしよう。そして、もっともっと自分の思いを人に伝えることができるように、言葉を学んでいこう。授業で考えを持ちまとめ、人に伝えることを鍛えていくんだ。大事なことは、「**今の学びは将来の自分につながっている**」と理解すること。言葉を豊かに学び、大切に使えるようになろう。津久見市人権フォーラムで表彰された一中生の人権標語、1年日下拓海くん『その言葉 自分が言われて いやじゃない？』、3年田島莉緒さん『大丈夫？ その一言で 救われる』、これらは言葉を考えるいいきっかけを与えてくれるね。ありがとう！

未来のあなたは
助ける人
それは今の
あなたです

キャリア教育！～振り返り、自分の成長を実感し、次の意欲へ！～

21日、2の1で学級活動公開授業が行われ、文部科学省研究官と筑波大学の教授、県キャリア教育事務局の先生など多数が参観された。同様に皆さんがほめていたのが、学級の良い雰囲気と仲間との関係、一中全体の絆づくりの取組。これまでの自分を振り返り、成長を実感し、また次の挑戦への意欲につなげる。この積み重ねと連なりこそが「**キャリア**」。だから、**今学んでいることが自分の将来につながっている**ことを理解し、「**夢のブロック**」を積み上げていくことが大切。今回の2年の授業では、保護者からの手紙がどれほどみんなの心を揺さぶり、自分の成長を実感できたことか。思わず涙があふれたね。やっぱり一番身近で一番みんなのことを愛している人の思いはぐっとくるよな。保護者の皆様、ありがとうございました。3年生の行事の後のわが子へのメッセージもこれまで見せてもらいました。これまたグッときます。一中の保護者やっぱり最高です。こういう保護者の思いや願いを時に伝えることが、子どもたちのキャリア発達を促します。今後もどうぞよろしくお願いします。

津久見高校生との給食交流会！

今日の給食は津久見高校生が考えた献立「津高メニュー」で、1年生の教室で考案した高校生と交流した。長い期間をかけて津高生たちは大学にも足を運んで食について学び、献立作成に取り組んできた。すごいよな。感謝と共に、学びを実践に生かし、将来につなげる津高生からわが一中も学ばせてもらおう。今日の様子は新聞各社とOAB局も取材に来たので、いろんな場面で紹介されよう。お楽しみに。

